

令和4年6月27日

福知山市議会議長 高橋 正樹 様

予算審査委員会委員長 芦田 眞弘

委員会審査報告書

本委員会に付託された議案について、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第80条の規定により報告します。

記

1 委員会付託議案

- ・議第2号「令和4年度福知山市一般会計補正予算（第3号）」
- ・議第9号「財政調整基金の繰入れについて」

2 審査の概要

6月20日、21日に委員会を開催し、付託議案の審査を行いました。各所管部署より詳細な説明を受け議案審査を行いましたので、主な概要について報告します。

初めに、議第2号の竜王戦福知山城対局事業について、「実行委員会の構成」を問う質疑があり、「前回竜王戦後に設立された将棋団体2団体と、商工会議所、商工会、青年会議所、文化協会、観光協会及び本市の8団体を予定している。市の対応としては、秘書広報課、産業観光課、文化・スポーツ振興課等と連携し参画することとなる」との答弁がありました。続いて、「前回の竜王戦と比較して予算が多額となっている要因」を問う質疑があり、「2018年実施時の決算は1,186万4,000円であった。状況変化として、消費税率のアップと仮設会場設置に掛かる資材費の高騰、警備の強化、コロナ対策の必要性、決着局の際の記者会見実施の想定などが挙げられる」との答弁がありました。

次に、「知の拠点」推進事業について、「キューブボックスを3台設置する理由と場所」を問う質疑があり、「一昨年、昨年とコロナ禍での就職面接等がオンラインとなり、対応できる場所に苦慮した。今後も、オンラインでの面接や研修、会議などが想定され、同時に対応できるよう3台設置するもので、場所は4号館内のメディアセンターやロビーなどを想定している」との答弁がありました。続いて、「学生食堂感染対策の詳細」を問う質疑があり、「現在4人掛けテーブルを配置し全250席となっているが、感染対策のため2人掛けにしており、半分の125席分しか確保できていない。このため行列ができ、午後の授業に間に合わない学生も発生している。広いテーブルを配置し、4人が座れるよう対応するものである」との答弁がありました。

次に、不妊治療費助成事業について、「助成対象者数の算出根拠」を問う質疑があり、「令和3年度まで京都府や福知山市に申請された延べ件数を参考に、保険適用により新たに治療を開始される方や治療回数の増加を見越して算出している」との答弁がありました。

次に、地域貢献型エネルギー推進事業について、「募集期間と本事業における設置目標」を問う質疑があり、「期間は7月の2週目頃から令和5年2月末日までを考えている。設置目標については、脱炭素の取り組み全体の中で検討していきたい」との答弁がありました。

次に、大呂自然休養村管理事業について、「支援金29万9,000円の算出根拠」を問う質疑があり、「施設全体ではなく、休業したのがグラウンドゴルフ場のみであったため、過去の決算データに基づき、一日の基準支援額を算出した後、そこから宿泊やキャンプ場など営業を継続していた収入分を差し引いた額を、逸失相当額として算出している」との答弁がありました。

次に、交通安全対策整備事業（通学路緊急対策）について、「合同点検の総数」を問う質疑があり、「全体で157カ所である。そのうち国道が10カ所、府道が24カ所となっている」との答弁がありました。

次に、鉄道利用促進事業について、「支援総額の算出根拠」を問う質疑があり、「コロナ前の2017年から2019年の3カ年平均収入額から令和4年1月から3月までの収入額を差し引いて算出している」との答弁がありました。

次に、地域公共交通燃料価格激変緩和対策事業について、「補助対象期間を令和4年4月1日から12月31日までとしているが、来年以降についての考え」を問う質疑があり、「今後の先行きが不透明なことから一旦年内を区切りとしている。今後の状況を踏まえ検討したい」との答弁がありました。

なお、議第9号についての質疑はありませんでした。

討論は、ありませんでした。

3 審査結果

- ・議第2号 全員賛成で原案可決
- ・議第9号 全員賛成で原案可決